

## 「愛」と「性」

### —ビデオ「シルバーエイジの性生活」を通して—

津村知世

#### 0. はじめに

高齢化社会が進むにつれ、高齢者に関する問題が介護や福祉をはじめとして様々な領域からはじめ、それらは超高齢化社会を迎える日本にとって、社会全体の問題となってきた。それらの問題の中ではじめに私が注目したのは、「高齢者の恋愛・結婚」に関する問題である。平均寿命が80歳を越える現代において、「老後」とはもはやゆっくりと縁側でお茶を飲みながら死を待つように過ごす、といった消極的なイメージだけで語ることが不可能なほど人生の多くの部分を占めるようになってきた。そのため最近では高齢者向けの結婚相談所<sup>(1)</sup>がはやるなど、高齢者の人生の幸福を追求しようとする傾向が見られるようになった。

そして私が「高齢者の恋愛・結婚」に関する文献を探していくうちに問題となってきたのが、「高齢者の性」の問題であった。以前は、「高齢者」と「性」を結びつける考え方は一般的にはなされていなかったが、現在では様々な調査<sup>(2)</sup>から高齢者にも性欲があることや、性生活を送っていることが明らかにされている。

さらに、「高齢者の恋愛・結婚」問題は、「高齢者の性」の問題の一部として扱われている場合が多く、あまり参考となる文献を見つけることができなかった。しかし、昨年、私は中高年の夫婦を対象にした、よりよい性生活を送るためのテクニックビデオの存在を知った。このようなビデオが販売されはじめ、ヒットしているのも、高齢化社会としての一つの時代の流れではないだろうか。<sup>(3)</sup>

私はそのビデオに興味を持ち、そしてそれを分析することによって「高齢者の性」について考えていくことにした。特にこの論文で考えてみたいことは、中高年の夫婦向けの性生活ビデオが販売され、ヒットしている経緯には、何か中高年(高齢者)夫婦の「愛」と「性」を結びつける要因が存在しているからではないか、ということである。どのように夫婦の「愛」と「性」を結びつけているのか、その答えをこのビデオから見つけることができれば幸いである。

#### 1. ビデオ紹介

高齢者向けの化粧品を製造・販売している「ハイリッチ株式会社」が、通信販売の形で販売し始めた。「シルバーエイジの性生活～中高年からの愛のテクニック～」というタイトルで、「メンタル編」と「実技編」のそれぞれ35分間番組として構成されており、2巻1組9800円(税別)で販売されている。昨年は月2000本、計2万本以上の売り上げを記録し、テレビのニュース番組<sup>(4)</sup>にまで取り上げられた。

「メンタル編」、「実技編」を通してビデオにでてくる主な登場人物は、番組進行役の女性1名と、中高年の夫婦役の男性1名、女性1名の計3名である。番組は大きく分

けて次のような場面編成になっている。まず、「番組進行役の女性が1人で話をする場面」、「夫婦役の男女によるドラマ場面」、「夫婦役の男女によるドラマの中に、番組進行役の女性の声がナレーションとして入っている場面」、そして「番組進行役の女性が夫婦役の男女にインタビューをする場面」<sup>(5)</sup>の4場面である。

また、ビデオの大まかな構成は以下のように区分されている。

## I メンタル編

- 第1章 幸せな性生活をしたいあなたへ  
＜日常生活でできること＞
- 第2章 男性としての気配りとは  
＜相手をその気にさせるコツ＞
- 第3章 女性としての心づかいとは  
＜相手と良い関係を保つコツ＞

## II 実技編

- 第1章 元気な中高年の性  
＜性を楽しむ＞
- 第2章 衰えた中高年の性  
＜加齢をフォローする＞

番組の細かい内容については次の章でみていく。

## 2. 番組の展開

番組は基本的には番組進行役の女性の話をもとに流れており、その話をより理解しやすくするために夫婦役の男女によるドラマ場面が挿入されている。番組進行役の女性のセリフを中心に番組の流れをみていこう。<sup>(6)</sup>

### I メンタル編

- 1-1 いつまでもときめく心でセックスをするパートナーに生涯恵まれた人は最高に幸せだと思います。
- 1-2 これからは人が年をとっていき疎外感を防ぐ意味でも心と体を温め合うパートナーを持つことは、長い人生を送る上で必要不可欠になってきます。
  
- 2-1 中高年の多くは、「夫婦にとってセックスは必要」と思いながらも、その半数は「セックスが負担」なのだそうです。
- 2-2 しかし、中年の時に幸福なセックスをしている夫婦や恋人は、熟年になってセックスがなくなってもお互いを思いやり、深い絆をもてるそうです。
- 2-3 そんな幸福なセックスライフをどうしたら送れるのか、これからお教えしましょう。

～幸せな性生活をしたいあなたへ～

- 3-1 たいていの人はセックスを楽しむということを罪悪と考えているのではないのでしょうか。
- 3-2 いいえ、セックスを楽しむということは決して罪悪ではありません。
- 3-3 お互いが喜びを分かち合えるセックスは心の絆を深めていけるのです。
- 3-4 では、そのためにはどうしたらいいのでしょうか。
- 3-5 まず、しなければいけないことは、相手のことをよく理解するということです。
- 3-6 長い夫婦生活の中で相手のことはよく分かっているつもりでも、実は意外と分かっていないものです。

\*中高年の夫婦がお酒を飲みながら会話を行う。

- 4-1 ほとんど会話がないうちにセックスだけを強要する夫が中高年にはよく見られますが、これはレイプに等しく、ただの排泄処理です。
- 4-2 たわいのない会話の中でお互いを改めて見つめ合うことも大切なのです。
- 4-3 お互いにめんどくさがらず、会話をする努力をしてみましょう。
- 4-4 そういったことを繰り返しているうちに、会話を楽しむことができるようになるはずです。
- 4-5 そして、照れずにどんどんスキンシップすることも重要です。
- 4-6 家で映画を見たり、お酒を飲んでいるときに、妻が夫にもたれたり、甘えたりすることは、セックスしていることと同じなのです。

\*夫が妻の肩に手を回してソファに座っており、妻にキスをしたり、胸を触ったりする。

- 5-1 夫は無視せずに、手を握ったり、肩を抱いたり、キスをしたり、その気になればブラウスのボタンをはずして胸を触るなどしてあげましょう。
  - 5-2 そして、場合によってはその場でのセックスも可能でしょう。
  - 5-3 しかし、中高年の場合はセックスを挿入して排泄することだけを目的とするのではなく、あくまでもお互いが気持ちよくなれるということをメインにすることが大切です。
  - 5-4 そうすることで女性は夫に深く心を通わせ、セックスにも協力的になることでしょう。
  - 5-5 いい夫婦関係というのは、お互いに理解し合うところから始まりますが、夫も妻もおのおの相手に対して気をつけていかななくてはなりません。
- 
- 6-1 まず、男性についてです。
  - 6-2 若くても、年をとっても、共通に嫌われるのは不潔な人です。
  - 6-3 きちんとすることにより、精神や体が緊張し、気持ちもういうしく、そこはかたない色気がでて、女性にももてるようになります。
  - 6-4 おしゃれに気を配ることも忘れないように、妻にとって魅力的な男性になることを心がけるといいでしょう。

\*夫が帰宅時に妻に花束を渡す。

7-1 中高年は女性の扱い方が下手な世代です。

7-2 無理をしてもしれているので、シャイさを生かしつつ、日常からの脱皮をはかりましょう。

\*外食をし、夫と妻がお互いの体に手を回して、会話をしながら家に帰る。

8-1 異次元の世界はマンネリになりつつある夫婦にとって、また違った角度から新鮮に相手を見ることができるようになってくれます。

8-2 花などを妻に贈ってみたり、普段行かないような所へ行って、環境の変化を作ってみることも大切です。

\*夫と妻がベッドの中で抱き合っている。

9-1 中高年になれば、セックスの回数とか勃起力は若いときにはいきません。

9-2 そのかわり、射精を我慢することができるようになったりして、セックスに余裕がでてきます。

9-3 今さらといわず、「昔から少しも変わらないね。」とか、「とっても刺激的だったよ。」とか、相手の体や反応をほめましょう。

9-4 お互いがうまくかみ合わなくても、満足していることを伝えます。

9-5 射精したらさっさと向きを変えて寝ないで、相手を腕の中に入れてたり、相手のことを気遣いながら手を握ったりして、セックスを締めくくりましょう。

10-1 男性だけでなく、当然女性にも気をつけなければならないことはあります。

10-2 中年になっても、生理がなくなっても、女であることは一生続きます。

10-3 そして、男性と対照的に自分が女としてあり続けるために、また女として相手にずっと扱ってもらうために、化粧や洋服に気を配るのはむろん、体を若く保つための努力をしましょう。

10-4 当然夫は、そんな妻をほめることを忘れないように。

\*妻がキャミソール姿でベッドに入ってきて、夫は妻に「とってもかわいいよ。」と言う。

11-1 たまには恥ずかしがらずに思いっきりセクシーなナイティや下着を身につけるなどして、女の自意識を高めましょう。

11-2 男性のセックスは視覚からはいるものです。

11-3 内面的な美しさよりも、魅力的な女性に変身したあなたを見て夫は大いに刺激されることでしょう。

11-4 でも、そんな下着やナイティを店で買うことに抵抗のある人は、通信販売で購入するとよいでしょう。

11-5 夫に好みを聞いてみるのもいいと思います。

11-6 ちょっと大胆な下着をつけた普段のあなたらしくない姿に、夫もあなたのことを見直すはずです。

\*妻が「ごめんなさい。きょうはなんだかとっても疲れているの。」とセックスをしよ  
うとする夫に言い、夫は「そうか。」と言い、妻を抱きしめて眠る。

- 1 2 - 1 誰でもセックスを断られるのはいやなものです。
- 1 2 - 2 いつも断られたら夫は白けて気まずくなります。
- 1 2 - 3 無理に応じる必要はありませんが、「今日はごめんなさい。」と、かわいく断り、そのかわり甘えるように相手の腕の中で眠るとか、手を握るなどすることによって、男の自尊心が保たれ、相手をおかわいく感じることができ、次も抵抗なく誘うことができます。
- 1 2 - 4 求められたときに強い口調で、「今日は疲れているから。」と言って、背を向けないようにしましょう。
  
- 1 3 - 1 最後に女性として夫のインポテンツを決してなじってはいけません。
- 1 3 - 2 男性は女性が思っている以上にメンツにこだわり、とても自尊心が強いのです。
- 1 3 - 3 妻の「もう終わり?」「まだ立たないの?」など怒ったりバカにした物言いは、夫をますます不能に追い込む原因となります。
- 1 3 - 4 逆に女性が優しくいたわりかわいければ、男性はその気になります。
- 1 3 - 5 自分が欲求になるのはお互いに相手に対する配慮が足りないと言うことも1つの要因ですから。
  
- 1 4 - 1 お互いのちょっとした心遣いから、今までにない2人の関係を築くことができるはずです。
- 1 4 - 2 恥ずかしがったりしないでもっと積極的に行動することでお互いの絆を深めていきましょう。
- 1 4 - 3 心と体を温め合うことのできるパートナーを持つということは、長い人生の中で最高の幸福を得るとのことなのです。

## II 実技編<sup>(7)</sup>

- 1 - 1 いつまでもときめく心でセックスをするパートナーに生涯恵まれた人は最高に幸せだと思います。
- 1 - 2 これからは人が年をとっていく疎外感を防ぐ意味でも心と体を温め合うパートナーを持つことは、長い人生を送る上で必要不可欠になってきます。
  
- 2 - 1 今回はよいセックスをするにはどうしたらよいか、ということについてお話ししていきましょう。
- 2 - 2 中高年世代の男性は、一般的に女性の扱い方がうまくありません。
- 2 - 3 当然、そのセックスに対する知識も豊富とはいえないでしょう。
- 2 - 4 これは女性についても同じことがいえるといってもいいでしょう。
- 2 - 5 しかし、セックスに対して全く興味がないのかといえば、そうではないと思います。

- 2-6 「いい年をして恥ずかしい。」とか、「なにを今さら。」といった考えが先行して、興味を押さえているだけだと思います。
- 2-7 長い夫婦生活を送っているうちにお互いに分かっているつもりになり、「セックスがなくて当然」と思いこんでいるのではないのでしょうか。
- 2-8 けれども、よりよい関係を持続させるためにはメンタル面だけでなく、セックスは重要な役割を果たしているのです。

～元気な中高年の性～

- 3-1 今回はとても仲のよい夫婦に話を伺ってきました。
- 3-2 それらのお話をもとに、よりよいセックスライフについて解説していきましよう。

(B: 番組進行役の女性 H: 夫役の男性 W: 妻役の女性)

- 01 B: お二人ともとても仲がよろしいですね。
- 02 H:
- 03 W: あはは。
- 04 B: マンネリとかいうことはなかったんですか。
- 05 H: ありましたよ。
- 06 W: ええ、一時期、
- 07 B:
- 08 H:
- 09 W: 全くと言っていいくらいセックスがなかったことありました。
- 10 B: それはどうしてですか。
- 11 H: やっぱり、慣れ過ぎっていうことと、刺激が少ないっ
- 12 W:
- 13 B:
- 14 H: ていうことかな。 そんな
- 15 W: 私がいくら誘っても、寝たふりなんかして(.)ね。
- 16 B:
- 17 H: こというなよ、君だってこっちがその気になっても、けっこう逃げられたよ。
- 18 W:
- 19 B:
- 20 H: はhはhはh。
- 21 W: わhはhはh、ふhふhふh。

2 2 B : それで、お二人の場合はどうやってスムーズな性生活を取り戻したんですか。  
2 3 H :  
2 4 W :

2 5 B :  
2 6 H : 二人で話し合って、いろいろ試しましたよ。写真雑誌やアダルトビデオなどを  
2 7 W :

2 8 B :  
2 9 H : 見たりしてね。  
3 0 W :

\*夫が妻の前に写真雑誌を置く。そして2人でアダルトビデオを見る。

3 1 B :  
3 2 H : 写真雑誌やビデオを二人で見ることは、マンネリになってきている状態に  
3 3 W :

3 4 B :  
3 5 H : けっこう刺激がありますよ。それに、モーテルやラブホテルなんかを利用する  
3 6 W :

3 7 B :  
3 8 H : のも普段と違った刺激があっていいですね。今の時代は昔と違って、そういう  
3 9 W :

4 0 B :  
4 1 H : ことにはオープンになっていますからね。恥ずかしがらずにどんどん利用した  
4 2 W :

4 3 B :  
4 4 H : ほうがいいですね。  
4 5 W :

4 6 B : 視覚的な興奮や想像力って大事なことなんですね。  
4 7 H : そうですね。  
4 8 W :

4 9 B : でも、興奮したからといって勢いだけでベッドインするのはよくないですよ。  
5 0 H :  
5 1 W :

52 B :

53 H : そうですね。

54 W :

4-1 女性の体は意外と複雑です。

4-2 深く挿入したからといって快感を感じるものではないんです。

4-3 外陰部との境にある入り口が一番感じるポイントです。

4-4 快感は経験や年齢に関係なく、クリトリスなどの外陰部の刺激で感じます。

4-5 結合してからは外陰部に意識を集中させるのがいいでしょう。

4-6 たとえば挿入したら、男性の恥骨がクリトリスにあたるように円を描くようにすることがベターだと思います。

4-7 先ほどのご夫婦はほかにもいろいろと工夫をして試されたそうです。

\*夫が妻に気持ちのよいところを聞きながら愛撫する。

5-1 相手の体について分かっているようでいても意外と知らないものです。

5-2 さらに中高年になれば若いときのようなセックスをすることは難しいと思います。

5-3 初心にかえってお互いを改めて知るためにも、会話を交え、相手の反応を確かめながら愛撫するのもいいでしょう。

\*夫が目隠しをした妻を愛撫する。

6-1 目隠しをすることによって視覚を奪われると、音・におい・特に触覚、つまり皮膚感覚が鋭敏になります。

6-2 その状態で女性の体全体を指と舌を使って愛撫すると、また違った興奮があり、効果的です。

6-3 女性を愛撫する、わりと簡単なように見えますが様々な形があります。

6-4 女性の気持ちを見捨て男性本位にならないようにすることが肝心です。

6-5 また、逆に女性にも同じことが言え、男性にリードされるだけでなく、自分からも積極的に相手のことを改めて知るようにすることが肝心です。

6-6 女性のそのような行動が、男性にまた新たな刺激を与えたいと思います。

55 B : 挿入するだけのセックスではなくて、愛撫を通してお互いがセックスを楽しむ

56 H :

57 W :

58 B : ということが大切なんですね。

59 H :

そうですね。我々くらいの年齢になれば、それ

60 W :



61 B:

62 H: なのセックスの形があると思います。若いときと同じというわけには

63 W:

64 B:

65 H: なかなかいきませんからね。

66 W:

67 B: セックスに対して嫌悪感や罪悪感を抱いている人たちが少なくないですよ。

68 H:

69 W:

70 B:

71 H: そうですね。セックスは決してそのようなものではなく、コミュニケーション

72 W:

73 B:

74 H: の一つですから。お互いに楽しまなくてははいけませんね。

75 W:

\*バスルームで妻が夫の背中を洗う。

7-1 このほかにローションを使ってお互いの体をマッサージし合うなどの方法もあります。

7-2 恥ずかしがらずにいろいろと試してみるのもいいでしょう。

76 B: バスルームでお互いの体に泡をぬり合ったりする、これもお互いを刺激し合う

77 H:

78 W:

79 B: コミュニケーションの一つなんですね::。

80 H:

ええ、そのままそこでセックスを

81 W:

82 B:

83 H: することもできます。日常のちょっとしたことでも刺激的にする方法はありません

84 W:

85 B: そうですね。でも、ご主人の場合は健康で元気ですから。

86 H: すね。いえいえ、いえいえ、

87 W:

88 B :

89 H : 一時は驚いていたこともあったんです。

90 W : あhはhはh。

～衰えてきた人のフォローセックス～

91 B :

92 H : やはり、年齢なりの衰えはあるものです。今はこのとおり比較的元気ですが、

93 W :

94 B :

95 H : かなり自身をなくしたこともありましたよ。妻に触れるのが怖くなったくらい

96 W :

97 B :

98 H : にね。

99 W : そうね、私も更年期のせいかな、この人に触れられるのが苦痛だったわ。

100 B :

101 H : 今になって思えば、

102 W : それにそのころは ::、会話も少なくなってたわねえ。

103 B : ふ :: ん。

104 H : お互い相手に話しもできずに悩んでましたよ。

105 W :

106 B : どんな方法で解決したんですか。

107 H : そうですね、思い切って彼女に話をしましたよ。

108 W :

109 B :

110 H : それで、バイブレーターなどの補助

111 W : そう、結果的にはそれがよかったのよね。

112 B :

113 H : 具を使ってね。

114 W :

8-1 確かにそのような方々は、バイブレーターなどの補助具を使うといいですね。

8-2 バイブレーターとは皆さんもご存じかと思いますが、細かい振動によって快感

を得る装置です。

8-3 こういった補助具を使うことでまた違った快感を得ることができます。

\*夫と妻がバイブレーターを使って体を刺激し合う。

9-1 年齢とともに当然勃起する力が弱まったり、持続しなくなったり、また勃起するまでに時間がかかったりしてきます。

9-2 これは仕方がないことです。

9-3 充実したセックスライフを送るために、この器具を積極的に使ってみるのもよいでしょう。

9-4 基本的には二人の気持ちよくなる場所をマッサージする、と考えていただくといいでしょう。

9-5 二人で話し合ってみて下さい。

9-6 中高年の女性は膣が狭くなってきています。

9-7 さらに愛液の分泌も少なくなってきましたので、あまり太いのは避けましょう。

9-8 細めのものをゼリーなどの潤滑剤を塗って挿入するとよいでしょう。

115 B : はじめて使ったときはどうでしたか。

116 H :

117 W : やっぱり少し抵抗ありました。

118 B :

119 H :

120 W : でも、主人と話し合いながら使っていくうちに、少しずつ慣れてきましたね。

10-1 こういったものに抵抗のある人は、マッサージ用のものや小型のものから試してみるのもいいと思います。

10-2 ペニスの代わりをするものではなく、レパートリーを広げるための道具なのです。

10-3 微妙な振動によって体の感じる部分をマッサージする、それが目的です。

10-4 時間をかけて一番良い方法を見つけてみて下さい。

10-5 セックスはただ単に挿入するだけの行為ではありません。

10-6 こういった補助具を使うことでまたひと味違った快感を夫婦で楽しみ、お互いのコミュニケーションをとることができます。

10-7 充実したセックスをするために、補助具を使うだけでなく、刺激的な愛撫も重要なポイントになってきます。

10-8 刺激的といってもむやみに力を入れて乳房などを愛撫するのではなく、あくまでもソフトタッチで下や唇を使って性器や乳房などのポイントを外してじらすように愛撫することもいいでしょう。

10-9 体位についてもいろいろと工夫しましょう。

- 10-10 試しながらお互いに気持ちのいい体位を見つけていくといいでしょう。
- 10-11 例えば女性上位の起上位やお互いに向き合う前座位は、クリトリスが相手の恥骨に押しつけられるので快感を得やすいでしょう。
- 11-1 これまでは、元気な人、少し衰えてきた人のセックスについてお伝えしてきましたが、体の弱い人や病気の人のために、いたわるセックスを忘れてはいけません。
- 11-2 興奮してはいけない人には、添い寝や手を握るなどします。
- 11-3 けがなどで体の自由がきかない人には、こちらから優しく愛撫したり、相手に触らせたりなどして、そして挿入する体位もお互いに協力しあって工夫しましょう。

(以下、「メンタル編」の13-1から14-3までと同じ)

### 3. 「愛」と「性」の組み合わせ

番組の展開を見ていくと、中高年夫婦の「愛」と「性」を組み合わせることによって話題が進められていると思われる部分がいくつか発見できた。その部分を一つずつ抜き出し、どのような組み合わせ方をしているのかみていこうと思う。

- ①いつまでもときめく心でセックスをするパートナーに生涯恵まれた人は最高に幸せだと思います。(「メンタル編」「実技編」1-1)
- ②人が年をとっていく疎外感を防ぐ意味でも心と体を温め合うパートナーを持つことは、長い人生を送る上で必要不可欠になってきます。(「メンタル編」「実技編」1-2)
- ③中年の時に幸福なセックスをしている夫婦や恋人は、熟年になってセックスがなくなってもお互いを思いやり、深い絆をもてるそうです。(「メンタル編」2-2)
- ④お互いが喜びを分かち合えるセックスは心の絆を深めていけるのです。(「メンタル編」3-3)
- ⑤まず、しなければいけないことは、相手のことをよく理解するということです。(「メンタル編」3-5)
- ⑥いい夫婦というのは、お互いに理解し合うところから始まりますが、……。 (「メンタル編」5-5)
- ⑦心と体を温め合うことのできるパートナーを持つということは、長い人生の中で最高の幸福を得るといことなのです。(「メンタル編」「実技編」14-3)

まず①では、「セックスをするパートナーに生涯恵まれた人」は、「最高に幸せ」であるとし、つまり「セックスをする」こと(性)は、人生(生)を幸せにするということであり、「性」と「生」が組み合わせられていると言える。

そして③では、「セックスをしている夫婦や恋人」は、「深い絆をもてる」とされ、「幸福なセックス」をすること(性)で二人の愛情(愛)が深まるという関係が表現されてい

と言える。また④でも、③同様に「セックス」(性)は「心の絆を深めていける」こと(愛)が述べられている。さらに④が可能となるためには「相手のことをよく理解する」必要があると⑤で、説明がなされている。要するに、「お互いが喜びを分かち合えるセックス」(性)を実現するには、「相手のことをよく理解する」必要があるということである。ここで⑥を見ると、「いい夫婦」(愛)とは、「お互いに理解し合う」ことから始まるとされている。つまり、④⑤⑥をつなげると、「お互いが喜びを分かち合えるセックス」(性)をすることは、「お互いに理解し合う」ことであり、それは、「いい夫婦」(愛)の始まりである、ということになる。③④⑤⑥では、「愛」と「性」の関連をもとに話が進んでいると言える。

最後に②と⑦では、「心」(愛)と「体」(性)のパートナーを持つことは「人生(生)を送る上で必要不可欠」であり、「人生(生)の中で最高の幸福を得る」こと、としている。これは①で、「性」と「生」、③④⑤⑥で、「愛」と「性」の二項の関連を表してきたのに対して、「愛」「性」「生」の三項が関連づけて述べられている。

以上で見てきたように、このビデオでは中高年の「愛」と「性」を結びつけて語る場合に、「人生」「生きること」、つまりは「生」をそれらに重ね合わせることによって、説明がなされていると考えることができるのではないだろうか。

#### 4. おわりに

今回取り上げたビデオは、中高年を対象に、よりよい性生活を送るためのテクニックを教えることを趣旨としているものであるため、指導的内容がほとんどであった。例えば、「～しましょう。」や「～するとよいでしょう。」といったアドバイスの言い方がなされている部分は、「メンタル編」では、5-1、6-4、9-3、9-5、10-3などで、「実技編」では、4-5、5-3、7-2、9-3、9-7など多く存在している。しかも、中高年を異性に対する接し方やセックスに対する知識が少ない世代としている(「メンタル編」7-1、「実技編」2-2、2-3、2-4)ためか、その指導内容はかなり具体的なものである。そして、「実技編」の「番組進行役の女性が夫婦役の男女にインタビューをする場面」は、性生活のためのテクニックを指導することに関しては、インタビューの質問に対する返答が全く理想的である(例えば、質問〔22〕と返答〔26・29・32・35・38・41・44〕)。このように、番組の構成が消費者に大変志向して作られていることは、このビデオが大ヒットしている要因であるだろう。

ビデオのパッケージの裏側に、「人間が喜びで満たされるのは、心も体も同じです。『性』は、人間らしく生きるために必要なことのひとつなのです。」と書かれているように、高齢者の場合に限られることではないが、「愛」や「性」を語る際には「生きること」との関わりが重要な役割を果たしている、ということはこのビデオを通して気づかされたと思う。

#### 注

- (1) 「無限の会」、「太陽の会」、「東京都小平市福祉会館シルバー結婚相談所」、「墨

田区シルバーパートナーづくり相談室」などがある。

- (2) 代表的な調査として、大工原秀子の「老人の性の実態調査」がある。詳しくは、大工原著『老年期の性』を参照。
- (3) このビデオ以前にこのような内容のビデオが存在していたかは調べるべきであったが、今回はそれができていない。
- (4) 1997年12月2日放送の「ニュース ジャパン」の今夜の特集「シルバー世代『性白書』」の中で紹介されていた。
- (5) この場面は「実技編」にのみ存在する。
- (6) \*に続く文は、「夫婦役の男女によるドラマ場面」の説明である。
- (7) 「番組進行役の女性が夫婦役の男女にインタビューする場面」では、3人の会話を音声トランスクリプトの形で表した。トランスクリプト記号は以下に示す。  
// 複数行の同じ列におかれた二重スラッシュ：参加者たちの言葉の重なりが始まる個所を示す。  
:: コロンの列：直前の音が延ばされていることを示す。  
hh hの列：呼気音を示す  
(.) 丸括弧で括られたピリオド：0.2秒以下の短い間合い

#### 参考文献

- 井上勝也他, 1997, 『老いと暮らしの実用百科』, 時事通信社  
井上俊, 1986, 「老いのイメージ」『老いのパラダイム』, 岩波書店  
梶博久・吉沢勲, 1988, 『老人の性』, 中央法規出版  
近・未来研究フォーラム, 1988, 『シルバーウェーブ』, 講談社  
宮内博一, 1994, 『老いの生と性』, 海竜社  
大工原秀子, 1979, 『老年期の性』, ミネルヴァ書房  
ロバート・N・バトラー・マーナ・I・ルイス, 1986, 『60歳からの愛と性』, (清水信訳), 社会保険出版社